

# 令和3年度東日本大震災アーカイブシンポジウム

## －震災記録を残す、伝える、活かす－アンケート

本日は、ご参加いただきありがとうございました。今後のシンポジウム開催にあたって参考とさせていただきます。アンケートにご協力をお願いいたします。

1. 本日のシンポジウムで、関心を持たれた内容に○を記入してください。（複数回答可）

	【事例報告】“体験を同期する”というアーカイブの使い方 3.11 オモイデアーカイブ代表 佐藤 正実氏
	【事例報告】伝承活動から見たアーカイブ活用の現状と課題 3.11 メモリアルネットワーク代表（宮城教育大学特任教授） 武田 真一氏
	【事例報告】震災の記憶をどう受け継ぐかー2014年神城断層地震震災アーカイブの取組み 信州大学学術研究院教育学系・教授 廣内 大助氏
	【事例報告】みんなで作り、活用するプラットフォーム「災害アーカイブぎふ」プロジェクト 岐阜大学流域圏科学研究センター准教授 小山 真紀氏
	【進捗報告】国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）の取組について 国立国会図書館電子情報部主任司書 中川 透
	【進捗報告】震災アーカイブの利活用について 東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山 明寛
	【パネルディスカッション】 震災記録を残す、伝える、活かす－震災アーカイブの利活用促進に向けて－

2. 本日のシンポジウムの満足度を教えてください。該当の欄に○を記入してください。

	満足	どちらかと言えば 満足	どちらかと言えば 不満足	不満足
事例報告				
進捗報告				
パネル ディスカッション				

3. 本日のシンポジウムのご感想、ご要望等、お気づきの点がありましたら、ご自由にご記入ください。

4. 今後、東北大学災害科学国際研究所や国立国会図書館で開催するシンポジウム等で取り上げてほしいテーマがありましたら、教えてください。

5. 本日のシンポジウムはどのようにしてお知りになりましたか？ 該当の欄に○を記入してください。（複数回答可）

	東北大学ホームページ（「みちのく震録伝」「災害科学国際研究所」含む）
	国立国会図書館ホームページ（「ひなぎく」「カレント・アウェアネス」含む）
	メールマガジン（図書館協力ニュース、JLA メールマガジン他）
	『国立国会図書館月報』
	新聞・雑誌
	SNS（Facebook、Twitter 等）
	登壇者、主催者からの案内
	ちらし ※掲示場所や入手場所を教えてください ( )
	その他 ※掲示場所や入手場所を教えてください ( )

6. あなたの年齢について、該当の欄に印をつけてください。（■、マーカー、○で囲むなど）

- 19歳以下       20～29歳       30～39歳       40～49歳  
 50～59歳       60歳以上

7. あなたの職業について、該当の欄に印をつけてください。（■、マーカー、○で囲むなど）

- 会社員       公務員       図書館員       教職員  
 NPO 法人職員       研究者       学生       大学院生  
 その他

8. お住まいの都道府県

9. お住まいの市区町村

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。